

## II-② 平成25年度 知的障害・身体障害専門部会 活動報告

### <活動計画>

#### 重症心身障害児・者分科会

今年度は事務局活動に傾注するために、専門部会を重症心身障害児・者分科会のみとしている。

### <参加機関>

中央児童相談所、中村特別支援学校、上菅田特別支援学校、南区こども家庭支援課、事務局

### 《重症心身障害児・者分科会》

| 日時                           | 議題   | 内容  |
|------------------------------|--|---|
| H25年4月25日(木)<br>15:30～17:00  | 1、自己紹介<br>2、本年度の重心分科会について<br>3、情報交換<br>4、その他連絡事項 | 1、新たにメンバーとなっていたいただいた機関を中心に自己紹介を実施。<br>2、本年度も事例検討を軸に会の運営を行うと共に、児相から区への一部業務移管に伴う情報交換の場としていきたい事を説明している。<br>3、気管切開など、医療ケアが必要な知的障害児の卒業が近くなっている事や、A判定で個別支援級に在籍している児童について情報交換している。<br>4、今年度は2ヵ月毎に実施していく事を確認している。   |
| H25年6月27日(木)<br>15:30～17:00  | 1、事例検討<br>2、その他 連絡事項                             | 1、中村特別支援学校からの4事例について検討を実施。南海からからも1事例提示をして意見交換を実施している。<br>2、事務局から児相主催の重心の親子を対象としたお話しはH25年度も歯科検診と絡めて実施することを周知している。  |
| H25年10月31日(木)<br>15:30～17:00 | 1、情報交換<br>2、その他 連絡事項                             | 1、南海側から児相→区への業務移管に伴い、重心の方向けに夜間・休日の相談窓口を地域活動ホームで設定する件について意見交換を行っている。<br>また、学校側からは在宅酸素や人工呼吸器を利用する児童の増加に伴い、学校や地域の福祉資源で対応ができるのかについて意見交換を実施。<br>2、生活保護課の教育支援員についての発信があった。  |
| H25年12月26日(木)<br>15:30～17:00 | 1、事例検討<br>2、その他 連絡事項                             | 1、家庭で医療的ケアに対する不安や夫婦間の葛藤により児童への養育が行き届かない家庭という事例について意見交換を実施。<br>2、放課後等児童デイサービスにおける看護師の配置や医療的ケアの実施について情報交換を行っている。  |
| H26年2月27日(木)<br>15:30～17:00  | 1、これまでの振り返り<br>2、次年度について<br>3、その他連絡事項            | 1、H23年度から行っている事例検討についてまとめた物を基にこれまでの振り返りを行っている。振り返りから、多問題家族、母親の抱え込み、障害児教育への無理解、医療的ケアが必要な知的障害児というキーワードを確認している。<br>2、次年度については、重心児者の事例検討を中心に、進路についての意見交換など従来通りの取り組みに加えて、障害児(知的・発達)についても取り扱う事を提案し、了承を得ている。<br>3、児相→区への業務移管後1年が経過するところで、児相・各区での状況や取組の報告会が実施されるとの報告があった。 |

### <今年度について>

今年度は、4月から隔月での開催が出来ている。また、こども家庭支援課の参加や、業務移管後も児相の参加が実現したことはとても意味があると感じている。今年度は事例検討についてのまとめを行うと共に、次年度以降に必要とされる内容の協議が行えたのは参加機関の協力があったからこそであると感じている。

### <次年度について>

次年度も引き続き、事例検討を軸に活動を進めていくが、進路については区を超えた形での協議が必要となっているので、どのようにしていくかの検討が必要と感じている。また、重心に限らず障害児の課題について検討している事を確認しているので、事例によって必要と思われる機関の参加を促していきたい。

